



渡良瀬川河川敷青少年ひろばとふるさと納税について

齊藤 晋一 議員



渡良瀬川青少年ひろば

質問 青少年ひろばの位置づけについて伺います。

答弁 サッカーの大きな大会を開催する場合、収容人員や駐車場の問題から、会場が青少年ひろばに限定されまですので、本市としては、メインのサッカー場として位置付けています。

質問 グラウンドの整備について伺います。

答弁 館林市サッカー協会のご協力をいただき、芝刈りなどの作業を行ってあります。維持管理には多くの時間と人員が必要となりますので、サッカー協会の方々に深く感謝しています。整備は主に除草作業となり、



春季と秋季は伸び具合によって月1回程度、夏季は10日から2週間に1度の頻度で実施しています。

質問 グラウンド、広場、駐車場との区別を植栽やベンチ、日除けなどの公共物で仕切れないか、また、堤防の反対側に管理棟を設置できないか伺います。

答弁 グラウンドやキャン

見交換を行いました。

質問 中学部活動の大会等は教職員が中心となり中体連が運営しているが、行政との連携が希薄なのが現実

です。今後は開催方法や主催の仕方、時期等についても、教員の休日勤務状況を把握し、県などの体制づくりが求められるが、その考えについて伺います。

答弁 部活動の地域移行に伴い、教員が運営主体、学校単位での参加形態だけでなく、弾力的な形態も考慮

プ場、駐車場など、それぞれの区分を明確にし、日除けの設置なども先進事例を参考に検討します。管理棟の設置については、利用者の快適利用のほか、住環境への配慮も必要となりますので、調査研究を行います。

ふるさと納税

質問 クラウドファンディングについて伺います。

答弁 クラウドファンディングを活用して、市民提案を実現する制度を検討しています。まだ事例が少なく、

解決すべき課題があります。が、事業化に向けて検証しています。

質問 目的別納税について伺います。

答弁 いわゆる「市長におまかせ」は、寄付金の使途特定が可能で、現在は「新型コロナウイルス感染症対策に関する事業」のみ設けています。今後も適切な時期に用途の設定を検討します。

意見 プロジェクト別納税が、具体的に説得力のある納税方法と考えます。

今後の学校の部活動方針について

齊藤 貢一 議員



質問 令和2年9月に学校と地域が協働・融合した部活動の具体的実現方策とスケジュールが、国から各都道府県に示されました。教師の多忙化、スポーツ・文化活動の地域人材の育成を鑑み、休日の部活動の地域移行、将来は部活動自体を地域移行するもので、令和

5年度より段階的に実施するとしているが、本市の取り組みについて伺います。

答弁 群馬県は、地域運動部活動推進事業を新設し、先進事例として実践研究を

しています。本市については、教育委員会と語る会において、体育関係有識者等と討議し、課題について意

能性も考慮し検討します。

要望 コミュニティスクール、地域学校協働本部、部活動の地域移行など、学校が地域に協力を求めることが多くなっているが、疲弊している地域に対して、学校ができることも考えていく必要がある。地域の問題

に対しても、学校との連携により、活性化させる方策があるはずで、教育と地域の両立という問題に対して、より一層の努力と配慮をお願いします。